

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会を明るくする運動事業

福祉政策課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉地区保護司会及び市民

意図 「社会を明るくする運動」を通じて、犯罪や非行のない明るい社会を築くため。

効果 犯罪や非行を犯した人達の更生援助と少年非行の防止活動を行い、明るい市民生活の実現を目指す。

【事業の内容】

(1) 社会を明るくする運動事業

- ・ポスターコンテストや講演会などを保護司会とともに行った。
- ・更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
313	313	307		6

主な支出内訳

・社会を明るくする運動事業

ポスターコンテスト消耗品費

5

保護司会補助金

302

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-04 社会を明るくする運動事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0009 社会を明るくする運動事業					
主管課	福祉政策課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	社会を明るくする運動が推進されるよう支援していく。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	307千円	313千円	313千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	307千円	313千円	313千円			
	人員配置数	0.5人	0.6人	0.5人			
	人件費	4,597千円	5,523千円	4,564千円			
	協働の パートナー	無	無	無			
事務事業 運営経費	総事業費	4,904千円	5,836千円	4,877千円			
	市民1人当 りの経費	28円	33円	28円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 運動への一般市民の関心を向上させること。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ポスターコンテストの実施にあたり、各中学校をまわりポスター募集の広報活動を行った。成果として、応募作品の数が前年比5割増しとなった。 鎌倉市地区保護司会と連携し、鎌倉駅頭において「社会を明るくする運動・映画と講演のつどい」への参加呼びかけを行い、前年比50名増の参加を得ることができた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 運動そのものへの関心を、一部の人達のものだけにせず、広く一般の人にも活動に関心を持ってもらえるようにすること。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 毎年7月に開催される“社会を明るくする運動ー講演と映画のつどい”において、一般の人にも参加しやすいテーマについて、保護司会と共に協議を行っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	一般市民の関心を向上させる。				無
担当課長氏名:		福祉政策課長 山本 賢次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	一般市民の関心を向上させる。				無
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		